

# 森山威男トリオ

森山威男 (ds) ・ 川嶋哲郎 (ts) ・ 魚返明未 (p)

## & 今岡友美 ジャズライブ



森山威男(ds)



川嶋哲郎(ts)



魚返明未(p)



今岡友美(vo)

2024年 6月2日(日)

岡崎市図書館交流プラザ  
りぶら ホール

開場 15:40 開演 16:00

入場料 : 2,000円

定員150名【要事前申し込み】

入場料は当日会場受付にてお支払いをお願いいたします

当日12:30より **整理券** を配布します

### 同日開催

#### ジャズ講座 Vol.5

岡崎市図書館交流プラザ りぶら ホール

開場13:00 講座13:30~15:00

定員:100名【要事前申込】

講師: 森山威男

聞き手: 山東正彦

入場  
無料

お申し込み方法...BLUE WAVE JAZZ FORUM宛てに、  
お名前・ご住所・ご連絡先・申込人数)をメール又はお電話・  
FAXにてお申込みください。

E-mail : [bluewave-jazz@okazaki.cc](mailto:bluewave-jazz@okazaki.cc)

電話番号 : 090-1280-7118 (澤田)

FAX : 0564-46-5622 (澤田)

主催 : ジャズの街岡崎発信連絡協議会

お問合せ : 福間 (080-5165-2900)

ジャズの街岡崎ホームページ

<https://okazaki-kanko.jp/jazz/>

岡崎JAZZ  
Monthly  
2024

OKAZAKI の 岡崎  
Jazz 街  
JAZZ CITY OKAZAKI

# Profile



もりやま たけお  
森山威男 (ds)

- 1945年 山梨県勝沼市に生まれる  
東京芸術大学打楽器科卒業  
在学中より山下洋輔トリオに在籍3度のヨーロッパツアーに参加
- 1975年 山下トリオを退団
- 1977年 自己のバンドを結成、日本国内はもとよりドイツ・イタリア。ソ連(現ロシア)での演奏も行う
- 1984年 ニュルンベルク「East-West Jazz Festival」での演奏が enjaレコードから発売
- 1985年 病により演奏活動をほぼ停止し療養生活を送る
- 1989年 演奏活動再開
- 1994年 自己のグループでドイツ・イタリアツアー敢行
- 2002年 第27回 南里文雄賞、  
第35回 ジャズ・ディスク大賞日本ジャズ賞、  
第56回 文化芸術祭賞レコード部門優秀賞を受賞。
- 2003年 George Garzone, Abraham Burtonを迎えての公演を行い、  
『A LIVE SUPREME』を制作
- 2007年 レギュラーメンバーにてCD『Catch up!』と  
DVD『Live at ala』を発表
- 2010年 CD『Central Park East』とMORIYAMA JAZZ NIGHT 2009の  
模様を収めたDVD『森山×山下』を発表
- 2011年 再度George Garzoneを迎えて、国内ツアーを実施  
その最終日を収めた『Dazzling』を発表
- 2014年 森山威男NONETによるDVD『楽しくなければ意味ないね』と  
板橋文夫との『STRAIGHTEDGE』を発表

また2001年からは在住である岐阜県可児市との共同企画で  
『MORIYAMA JAZZ NIGHT』を可児市文化創造センター大ホールにて  
毎年開催。毎回、新たな趣向にチャレンジして、  
地元の文化活動にも貢献している。



かわしま てつろう  
川嶋哲郎 (ts)

1966年、富山県に生まれる。6才からピアノを始め、12才でトランペット、高校時代からサックスに転向し、大学在学中に独学でジャズを始める。卒業後、名古屋で会社員として勤務する傍らアマチュアで活動する中で、原朋直と大坂昌彦に出会い、27歳の時上京してプロに転向する。

その後、大坂昌彦、原朋直、日野皓正、大西順子、日野元彦、綾戸智絵など日本を代表する数々の演奏家のグループに在籍した。  
近年では森山威男グループ、寺井尚子との共演、フルノーツ、山下洋輔ビッグバンドの活動の他、自己のカルテット、ライフワークのソロ、デュオライブなど精力的に行う。

アフリカ(セネガル、ギニア共和国)、アメリカ(ニューヨーク、ボストン)、韓国、台湾、フィリピン(マニラ)での公演、単身渡仏しヨーロッパ各国の多数の演奏家と共演する等、国際的にも表現の場を広げる。

テナーサックス・ソプラノサックスの他、フルート奏者としての活動も目覚ましく、竹澤悦子(箏)、吉見征樹(タブラ)との共演、「ダンス」「俳句」「絵画」との共演など、ジャズプレイヤーの枠を大きく超え日本人即興音楽家として独特な活動を続けている。

今では廃刊となってしまったswing journal誌において10年以上に亘りテナー・サックス部門で1位の座を占めた。  
2007年から2010年までJazzLife誌にて「わがままサックス哲学」を連載した後、2011年より同誌で「気ままにジャズエチュード」を連載中。  
2009年より講師として洗足学園音楽大学での講座を受け持つ。その他、石森管楽器にてセルフプロデュースライブやサックス奏法研究会を定期的に開催している。



おがえり あみ  
魚返明未 (p)

- 4歳からピアノを始める。
- 1998年 東京学芸大学附属小金井小学校に入学。
- 2004年 東京学芸大学附属小金井中学校に入学。
- 2007年 東京学芸大学 附属高等学校に入学。モダンジャズ研究部に  
入部しジャズピアノに転向。
- 2013年4月 東京藝術大学音楽学部作曲科に入学。
- 2015年7月 大学在学中に初リーダーアルバム『Steep Slope』をタワー  
レコード限定リリース。
- 2016年8月 ファゴット奏者岡崎耕治のアルバムにて自作曲  
「2つの小品」を発表。
- 2017年3月 東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業。
- 2018年10月 初のフルアルバム『はしごを抱きしめる』をリリース。  
現在、魚返明未トリオ(高橋陸、中村海斗)、魚返明未&井上銘(デュオ)、  
Pushなど様々なバンドでライブ活動を展開すると同時に、  
映画音楽などの作曲活動も行なっている。  
これまでにクラシックピアノを佐藤恵美、作曲を山口博史、森垣桂一、  
鈴木輝昭に師事。「Point de Vue[3] vol.12」(2018年4月25日東京文化  
会館)で、「Switch On, Switch Off」を発表。  
「Point de Vue vol.16~TRIO VENTUSを迎えて」(2023年4月19日東京  
文化会館)では、作曲したクラシック演奏家によるピアノ三重奏曲  
「Impose Nothing」を初演。  
2022年2月、井上銘とのデュオアルバム『魚返明未&井上銘』をリリ  
ス。全国11か所のツアーを行う。



いまおか ともみ  
今岡友美 (vo)

愛知県岡崎市出身

ポップスのライブ出演中に、ドクタージャズこと内田修氏の目にとまり  
ジャズに転向  
小さな体からは想像がつかない、天性の歌声と確かな歌唱力、飾らない  
親しみ深い人柄で人気を集めているボーカリスト。  
「Amazing Grace」等のゴスペルやビートルズの「Come Together」ま  
でスタンダードのみならず多様なジャンルに挑戦している。  
2022年より岡崎市ジャズアンバサダーに就任  
2023年12月に一日岡崎警察署長を務める

- 2009年10月 待望のデビューアルバム「Dear」をリリース
- 2011年 5月 セカンドアルバム「Smile」をリリース
- 2012年12月 サードアルバム「今岡Bar」をリリース  
スウィングジャーナル誌の女性ボーカル部門  
人気投票で全国18位にランキングされる
- 2015年 4月 「MY SHINING HOUR」をリリース
- 2018年 1月 「Lovin' ゆ〜」をリリース
- 2015年、2018年に名古屋のブルーノートに出演



岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059

岡崎市康生通西4-71

TEL:0564-23-3100(代表)

